

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

私は韓国の慶州市の職員です。慶州市は宇佐市と長い間、友好的な関係を築いており、交流の一環として私が派遣されました。最初は慣れない環境に緊張していましたが、部署の方々からたくさんサポートしていただきました。日本に来てから約3カ月が経ち、今では宇佐が故郷のように感じられます。宇佐の第一印象は、自然が美しいことです。特に、広がる田んぼに夕焼けの空が映る風景はとても素晴らしく、何度も写真を撮りました。また、公務員としての視点から見ても、日本の公共サービスは素晴らしいと感じました。困ったことがあれば対応してくれるため、本当に日本は親切な国だと実感しました。生活面でも宇佐はきれいなまちで、食べ物も多様なので毎日の食事の時間が楽しみです。今後も宇佐市と慶州市の良い関係が続くことを願っています。



お便りをくれた方

名前 김시현(キムシヒョン)さん 国籍 韓国
住所 上田 職場 市秘書広報課



心も体も
地域も元気に!

食育レシピ
recipe

雷部屋おすすめの 塩ちゃんこ鍋

問合せ / 健康課 健康増進係 (☎27-8137)

\ check! /



雷部屋の雷親方は、市内出身の元小結で市観光大使を務めています。令和5年2月に入間川部屋を継承し、新たに雷部屋として創設されました。今回は、雷部屋おすすめの塩ちゃんこ鍋を紹介します。あっさりした塩味で、お肉や野菜がたっぷり入っています。



塩ちゃんこ鍋

材料 (4人分)

- ・お好みの具材 (肉団子、キャベツ、ニンジン、長ネギ、シイタケ、厚揚げなど)
- ・薄口しょうゆ 小さじ1
- ・塩 小さじ1/3
- ・コショウ 少々
- ・ごま油 小さじ2
- ・A
- ・水 3カップ (600ml)
- ・酒 大さじ3
- ・鶏がらだし(顆粒) 小さじ2
- ・和風だし(顆粒) 小さじ1
- ・おろしにんにく 小さじ1
- ・おろしショウガ 小さじ1/2

- 【1】 具材をお好みの大きさに切る。
- 【2】 鍋にAを入れて煮立て、煮えにくい具材から順に加える。
- 【3】 ふたをして具材に火が通るまで弱火～中火で煮る。

☆市ホームページでは、さらに詳しい作り方を紹介しています。



邪馬台国と清張の推理 その3

宇佐市長 是永修治

邪馬台国は筑後国山門郡（福岡県柳川市・みやま市付近）にあったと清張は結論付けました。「魏志倭人伝」と照らし合わせながら、清張説の風景をスケッチしてみます。

「邪馬台国は筑後川の肥沃な土地で農業を営む農耕民族国家だった。その南には狩猟民族の狗奴国（熊本県菊池市付近）があり、邪馬台国の富を長年にわたり略奪していた」

「邪馬台国は狗奴国からの防衛策として、後漢滅亡後に勃興した魏と連携を模索。鬼道を操る卑弥呼を立て、239年、魏の帯方郡から「親魏倭王」の金印などの獲得に成功。伊都国にあった一大率（帯方郡の軍政官）の指導の下、邪馬台国以北の30余のクニと連携しながら狗奴国を牽制、平和を保った」

「魏・呉・蜀三国の争乱で魏

が弱ると、狗奴国は再び侵攻。卑弥呼の援軍要請に帯方郡は応えることができず滅亡。卑弥呼の死後、代わった台与は新たに朝鮮半島を支配した勢力（後で詳述）と連携し狗奴国を撃退。なお、当時の畿内には大和王朝などの別のクニがあった」こんなところでしょうか。

私は清張説に賛同する一人ですが、一つだけ異なる部分があります。筑後国山門郡にあった邪馬台国は、常に狗奴国からの脅威にさらされており、カリスマ王である卑弥呼は安全かつ神聖な場所へ鬼道に専念する必要があった。その場所こそ宇佐神宮が鎮座する宇佐の地であったと私は思うのです。続く。



鏡を掲げる卑弥呼
画像提供 / 大阪府立弥生博物館

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは、戦後75年以上経って体験者の声は薄れゆく中、戦争の実像を伝えるためにこれまでで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

74 郷土将兵慰問写真帳

豊川村（現・宇佐市豊川）の銃後奉公会から出征した兵士を励ますために贈られた写真集で、昭和15年11月29日発行。村長や村議会議員など村の指導層や出征した軍人の家族などが写されています。当時は日中戦争が始まっており、戦地の中国に出征した兵士にとっては、懐かしい故郷や家族を思い出し、望郷の念を抱き慰められるものでもありました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎27-8200）